

**厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）  
分担研究報告書**

**病院データベースを活用した1型糖尿病症例の抽出研究**

研究分担者	西村 理明	東京慈恵会医科大学	糖尿病・代謝・内分泌内科	准教授
研究協力者	宇都宮 一典	東京慈恵会医科大学	糖尿病・代謝・内分泌内科	教授
	川浪 大治	東京慈恵会医科大学	糖尿病・代謝・内分泌内科	講師

**研究要旨**

日本における小児期発症1型糖尿病の頻度は欧米と比べ著しく低い。しかしながら、小児に関しては児童福祉法に基づいて国が行う小児慢性特定疾患治療研究事業（小慢事業）があり、その実態に関する調査が行われてきた。一方、成人の1型糖尿病の頻度に関しては、欧米においても限られた報告しかなく、我が国におけるその実態はほとんど調査されていない。

本研究は、6,000人以上の糖尿病患者が通院している東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科外来に通院中の患者を対象に、レセプトデータならびに利用できる関連データを用いて、糖尿病患者における1型糖尿病の頻度を推定し、さらにはその結果を日本におけるコホート研究の結果と比較検討することを目的とする。

**A. 研究目的**

成人の1型糖尿病の頻度に関しては、世界的に情報が不足しており、欧米においても限られた報告しか存在しない。我が国では、ほとんど調査が行われておらず、その実態は明らかにされていない。

そこで、本研究は、東京を代表する一大学病院における2013年ならびに2014年1～3月に外来を受診した糖尿病患者を抽出し、そのレセプトデータを用いて、1型糖尿病の頻度を明らかにすることを目的とする。

**B. 研究方法**

6,000人以上の糖尿病患者が通院している、東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科の外来通院中の糖尿病患者を対象に、レセプトデータならびに関連して利用できるデータを用いて、通院中の糖尿病患

者における1型糖尿病の割合を推定する。

さらに、本研究の値を他の疫学研究と比較し、レセプトデータの有用性と限界について評価する。

**C. 研究結果**

2013年1～3月に1回以上でも外来受診した患者のうち、レセプト病名に「糖尿病」が含まれていたものは6,327名、レセプト病名に「1型糖尿病」が含まれていたものは、そのうち448名(7.1%)、2014年1～3月に外来に通院した人においてはそれぞれ、6,451名および438名(6.8%)であった。

次に、2014年1～3月に外来を受診した患者の臨床的背景を解析した。レセプト病名に「1型糖尿病」が記載されていた患者の平均年齢は53.8歳、男性は438名中211名(48.2%)、平均HbA1cは7.94%、HbA1c < 7%達成の割合は22.4%であった。

## 1. 考察・結論

レセプトを使用した疫学研究の前例としては、皮膚疾患の乾癬を対象とした疫学調査が施行されている<sup>1)</sup>。

本研究では、レセプトデータから、成人における1型糖尿病症例の頻度を推定できるか否かを検討した。

2015年、糖尿病を専門とする464医療機関（診療所もしくは病院）に通院中の糖尿病患者を対象としたJDCP studyのベースラインデータが発表された。本報告は、わが国の1型および2型糖尿病患者を対象とした大規模前向き観察研究である<sup>2,3)</sup>。

対象は40～75歳未満の糖尿病患者6,338名で、1型糖尿病患者394名（6.2%）の調査開始時の基本情報は、平均年齢56.2歳、男性174名（44.2%）、平均HbA1c 7.8%、HbA1c < 7%達成率25.3%であった<sup>3)</sup>。

1型糖尿病患者の比率は、本研究で得られた成績とJDCP studyの結果を比較すると、それぞれ、6.8%および6.2%であり、両者は酷似していた。

また、平均年齢（本研究およびJDCP study）は53.8歳および56.2歳、男性の割合48.2%および44.2%、HbA1c 7.9%および7.8%、HbA1c < 7%達成の割合は22.4%および25.3%と、いずれも近似した値が観察された。したがって、本研究とJDCP studyは、ほぼ同等の集団を捕捉していると思われる。

本研究結果の妥当性は、他の複数のコホートを使用して十分に検証する必要がある

が、糖尿病を専門としている医療機関において、6,000名を超える規模で検討を行った際には、レセプト病名に「糖尿病」が含まれる者の約6%が1型糖尿病である可能性が示唆された。

## E. 研究発表

- |         |    |
|---------|----|
| 1. 論文発表 | なし |
| 2. 学会発表 | なし |

## F. 知的財産権の出願・登録状況

- |           |    |
|-----------|----|
| 1. 特許取得   | なし |
| 2. 実用新案登録 | なし |
| 3. その他    | なし |

## G. 参考文献

- 1) 照井 正, 中川 秀己, 江藤 隆史, 小澤 明. 健康保険組合レセプト情報を利用した乾癬の実態調査. 臨床医薬. 2014; 30: 279-285
- 2) 糖尿病データベース構築委員会, 田嶋 尚子, 西村 理明, 泉 和生, 林野 泰明, 折笠 秀樹, 野田 光彦, 植木 浩二郎. 糖尿病合併症の実態とその抑制に関する大規模観察研究—研究計画と2型糖尿病のベースラインデータ: JDCP study 1—. 糖尿病. 2015; 58: 346-357
- 3) 糖尿病データベース構築委員会, 西村 理明, 泉 和生, 林野 泰明, 折笠 秀樹, 野田 光彦, 植木 浩二郎, 田嶋 尚子. 糖尿病合併症の実態とその抑制に関する大規模観察研究—1型糖尿病の登録時臨床像: JDCP study 2—. 糖尿病. 2015; 58: 426-436

